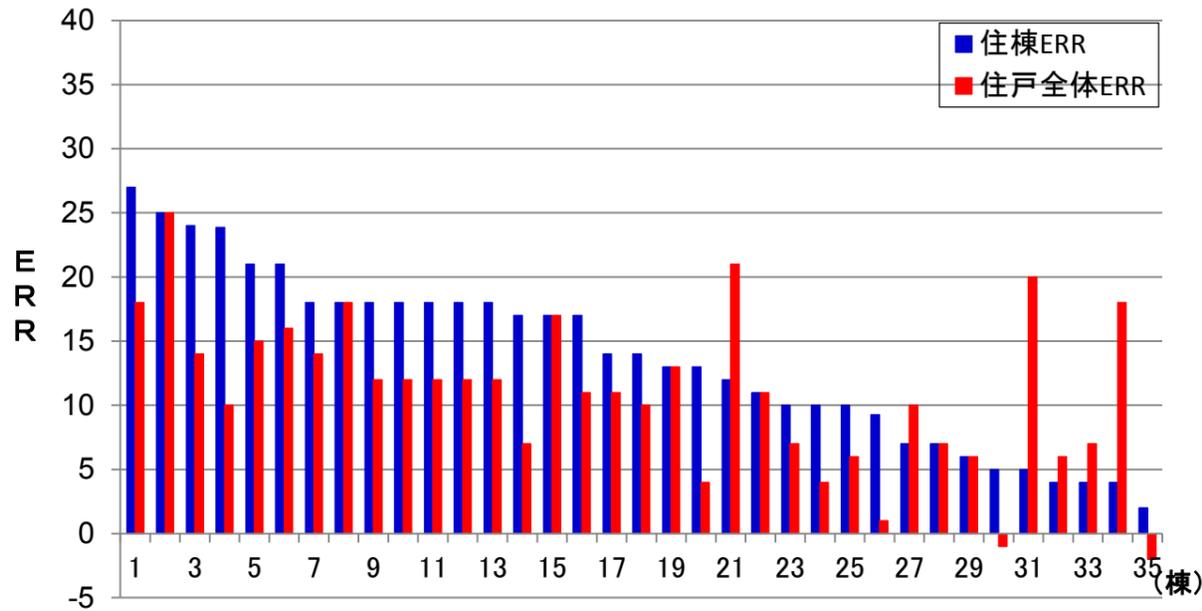
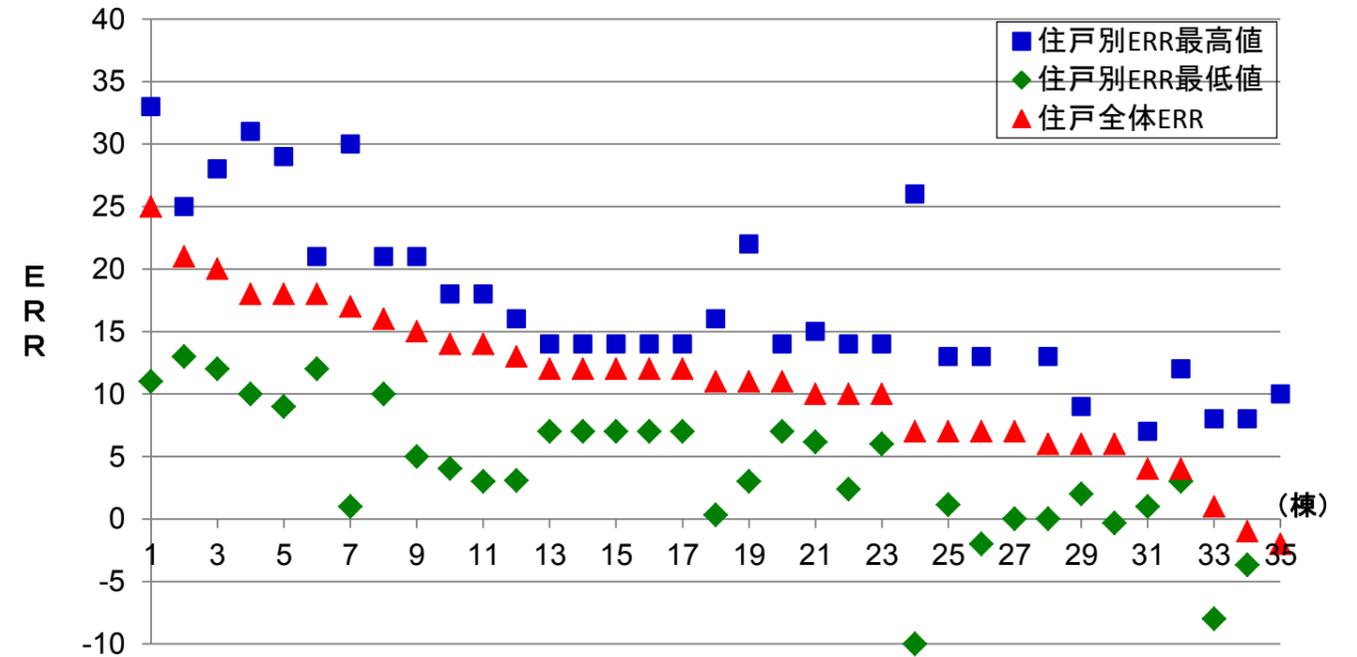


直近の3年間(平成28年度から平成30年度)に提出された住宅用途建物の建築物環境計画書において、根拠書類として、建築物省エネ法の届出書作成の参考となる、住戸に関する事項(届出書・第四面)別紙1【集計】が添付されているものを抽出した。(全部で35棟)

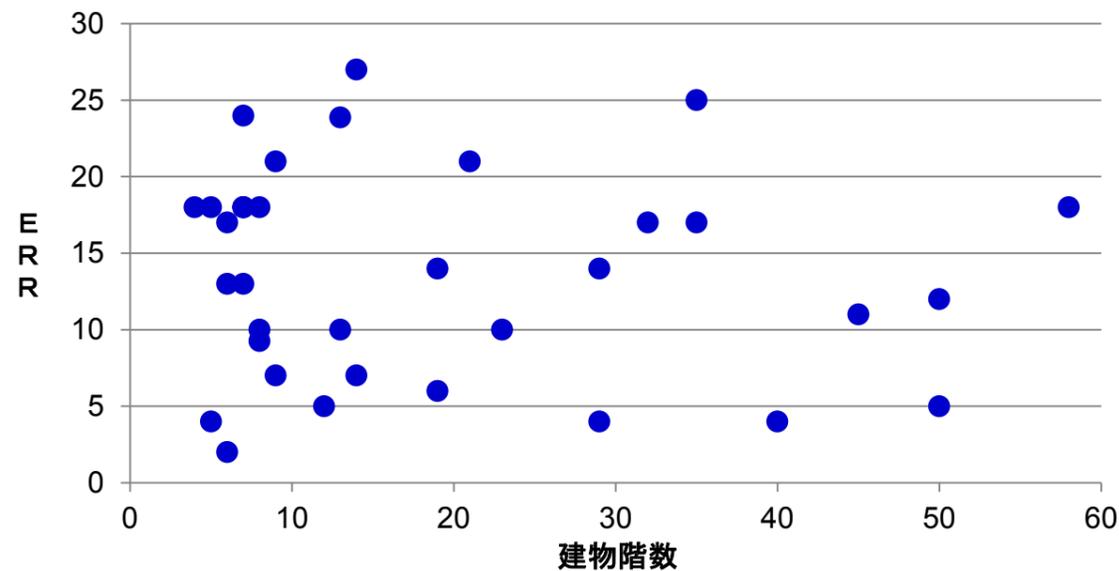
【住棟でのERRと住戸部分全体でのERR】



【住戸部分のERR(住戸別最高値、住戸別最低値、住戸全体)】



【住棟でのERRと建物階数】



【参考】他制度における住宅用途建物の省エネ性能の評価状況(住棟全体での評価)

ERR	BELS	CASBEE	その他
20以上	★★★★★	レベル5	ZEH-M Oriented以上(国)(※1)
15以上20未満	★★★★		
10以上15未満	★★★	レベル4	ERR≥10で誘導基準相当(国)
5以上10未満	★★	レベル3	ERR≥5で誘導水準相当(都)(※2)
0以上5未満			ERR≥0で省エネ基準相当(国)

(※1) 外皮性能に関する条件は除く。

(※2) 「新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針」  
(H29.3改定、東京都都市整備局)